

市政のここが聞きたい

議会のホームページから、議会の映像がご覧いただけます。



スマートフォンなどをお持ちの方は、氏名の下のQRコードを専用アプリで読み取ると、それぞれの録画映像がご覧いただけます。

質問項目一覧 (通告順)

- ①石川 克正 P4
 - ・防災行政
 - ・新庁舎建設
 - ・渋沢栄一翁とまちづくり
- ②中矢 寿子 P5
 - ・健康寿命延伸策
 - ・プログラミング教育
 - ・アフターメダルプロジェクト
- ③柴崎 重雄 P5
 - ・渋沢栄一翁顕彰
- ④加藤 利江 P6
 - ・災害対策
 - ・市営住宅
 - ・川本公民館
 - ・市からの電話
- ⑤茂木 一郎 P6
 - ・県道花園本庄線
 - ・榛の森公園
 - ・台風19号
 - ・寄居スマートインター
- ⑥富田 勝 P7
 - ・農地
 - ・防災
- ⑦五間 くみ子 P7
 - ・持続可能な未来に向けたまちづくり
 - ・子育て支援
- ⑧三田部 恒明 P8
 - ・予防接種法
 - ・台風19号の暴風雨による災害
 - ・学校図書館
 - ・教育行政
 - ・まち・ひと・しごと創生総合戦略
- ⑨高田 博之 P8
 - ・台風19号による災害対応の総括
- ⑩佐久間 奈々 P9
 - ・公立保育園の民営化
 - ・花園IC拠点整備プロジェクト
- ⑪鈴木 三男 P9
 - ・災害対策
 - ・国保税の引き下げ
 - ・子育て支援
 - ・北通り線の安全対策
- ⑫田口 英夫 P10
 - ・空き家対策
 - ・区画整理事業
- ⑬福島 秀樹 P10
 - ・深谷市の災害への対応
 - ・岡部学童保育室
- ⑭武井 伸一 P11
 - ・台風19号
 - ・渋沢栄一翁
- ⑮馬場 茂 P11
 - ・台風19号
 - ・原郷上野台線
 - ・ネギの害虫対策
- ⑯村川 徳浩 P12
 - ・大型台風直撃を想定した深谷市の対応・対策
 - ・深谷市防災行政無線同報系デジタル化整備工事に係る入札
- ⑰湯本 哲昭 P12
 - ・アグリテック集積戦略
 - ・市営住宅の空き室対策
- ⑱永田 勝彦 P13
 - ・深谷市防災行政無線
 - ・深谷市瀬山薬師堂の周辺部
- ⑳今井 慶一郎 P13
 - ・防災行政無線
 - ・小中学校の運動会
 - ・小中学校の通学路

プログラミング教育必修化への取り組み状況を問う

平成29年度より四年生を対象に先行実施してきた

Q 学習指導要領の改訂に伴い来年度から小学校でプログラミング教育が必修化となる。機器の整備や人材育成等、取り組み状況を聞きたい。どんな授業になるのか。

A 平成29年度から教員研修を充実させ、教員の資質向上に努めて来た。機器については市内全小学校で40台（クラス分）のパソコンが整備されている。実際の授業としては、算数や理科、総合的な学習の時間等の教科の中に取り入れていく。

Q 健康寿命延伸策について問う。来年度から導入されるフレイル健診だが、厚生労働省作成の質問票を深谷市はどのように活用するのか。

A 令和2年度からの活用に向け、健診実施機関と調整を行っている。

Q 元気な高齢者にとって口腔ケアが重要と聞く。実態を聞きたい。

A 40〜70歳の5歳刻みで歯周病検診を実施し、受診率は6.2%。また、75歳を対象にした健康長寿歯科健診では受診率7.7%であった。



Q 通院困難な方の歯科治療はどうしているのか。

A 在宅歯科医療拠点事務所を紹介し、相談等を受けてもらう。



Q アフターメダルプロジェクトは安心し出せるように、回収ボックスを設置すべきでは。

A 庁内設置を調整していきたい。

防災は自助・共助・公助の精神で。今後の対応は

今回の台風対応の経験から防災意識の啓発に努める

Q 避難所を開設して見えてきた課題は。

A 課題としては、一部の避難所で駐車場がいっぱいになり、支障がでた。今後は避難所の状況を把握し適切な情報提供を行うようにしていきたい。また、その他様々な意見をいただいたことも把握している。改善できる点は現場の適切な対応に努めていきたい。ただ、公助にも限界があることから、避難所利用方法の啓発にも努めていきたい。

Q 避難所として使用される可能性のある市内体育館だが、国の防災対策の動向をみながらエアコン設置の可能性を探ってもいいのでは。せめて試算くらいやってみようか。

A すでに試算は行っている。1館あたり3千数百万円を見込んでいる。

Q 唐沢川の土手にダメージがあったが県に確認できないか。

A 今回の市からの連絡を受けて、県が現地確認したところ、堤防と護岸に損傷は確認されなかったとのこと。市としても今後の変化が見られ

渋沢栄一翁顕彰事業はどうなっているのか

より大きな経済効果を目指し、順調に進んでいる

Q 「青天を衝け」の大河ドラマ館は深谷公民館に開設される。来訪者の利便性と経済効果を高めるための交通表示、パンフレット、シャトルバス、駐車場について、どのように考えているのか。

A 来訪者の利便性を図るためにわかりやすい案内表示、のぼり旗、スマホの道案内アプリ、市内散策用のパンフレットなどの活用を考えている。また、駐車場は、一度に普通車約210台、大型バス約20台の規模で従前のドラマ館と同程度確保できる。そして、関連施設をめぐるシャトルバス等についても検討していく。この絶好の機会に市内各産業に経済効果が波及するように関係団体と協力し取り組んでいく。

Q 来館者は急増が予想されるが、来館達成者記念事業はどうなっているか。来館見込み数は。入場料有料化はあるのか。渋沢栄一翁の命日の事業の企画状況について知りたい。



渋沢栄一記念館

石川 克正
スマホはこちらから



― 渋沢栄一翁のまちづくり ―

Q 次年度から「渋沢栄一政策推進部」が新設されるが、現時点で予算請求、政策目標、数値目標等検討されているのか。部ができてからそれらの業務が始まるのか。

A 現体制において検討を進めており、4月からスムーズに事業を執行できるように準備している。



11月11日栄一翁命日、駅前銅像前での献花式

柴崎 重雄
スマホはこちらから



A 今年度の来館者数は、12〜13万人を見込んでいる。達成者記念事業として7777人目へ記念品が贈呈され、次は、10万人目を予定している。有料化については、平成7年11月11日開館以来、渋沢栄一翁の偉大な業績の資料展示を市民に周知するため無料で行ってきた。有料化については課題を抽出、調査研究していく。今年の11月11日の命日に合わせて様々な行事が行われたが、今後は節目に事業を企画したい。